様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第２回小牧警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和７年５月26日(月)午後１時55分から午後３時25分まで・小牧警察署講堂
出　席　者	１　委員　　９名（定数　10名） 鈴木　浩一　　委員　川口　エリカ　委員 山田　さかゑ　委員　門澤　光洋　　委員 永井　基幸　　委員　松本　善幸　　委員 渡邊　祐子　　委員　柴　章二　　委員 眞水　明子　　委員
	２　警察署員　　９名 林署長　　國光副署長　　中根警務課長 花木会計課長　　大谷生活安全課長　　可知地域課長 坂本刑事課長　　掛布交通課長　　佐野警備課長
	３　有識者等 なし

１　警察署長挨拶

２　警察署幹部紹介

３　報告内容

(1)　管内の犯罪発生及び交通事故発生状況

(2)　前回の協議事項、意見・要望及び施策推進状況

ア　協議事項

自転車盗を抑止するための防犯意識の高揚について

イ　意見・要望

・　駐輪場やマンション等で防犯対策をする。

・　環境の整備、駐輪場の整理整頓、放置自転車の撤去。

・　地域、学校での呼びかけキャンペーンの強化。

ウ　施策推進状況

・　駅やマンションの駐輪場でチラシを配布する等の活動により、防犯意識の醸成を図った。

・　行政と連携し、駐輪場の整理整頓や放置自転車の撤去等を行うことで、被害の発生を抑止する環境づくりの推進に努めた。

・　地域や学校で施錠の励行を呼びかけて防犯意識の醸成を図った。

様式第９（続紙）

４　協議事項

自転車利用者の乗車用ヘルメット着用の促進について

５　発言の要旨

・　高校生のヘルメット着用率が悪いので、校則等で決めるべきだと思う。

・　実際に起きた事故等の具体例を交えて、ヘルメットの必要性を広報する。

・　ドライブレコーダーの映像等を活用した交通安全教室を若い世代に向けて実施する。

・　高校生、大学生に対して、同年代の若い世代のヘルメットの着用率が低いという実態を知ってもらったうえで、自ら考えてもらい、どのような方法を取れば、ヘルメットの着用率が上がるかアンケート等で調査する。

・　被りたくなるようなヘルメットのデザインが大切である。ヘルメットを無料で配布する等のキャンペーンがあれば良いと思う。

・　ヘルメットを購入する際に、同時に市からの助成金が申請できる制度を構築する。

・　若い世代だけでなく、高齢者や幅広い年代に向けた交通安全教室等を行ってほしい。

６　意見・要望

・　幅広い年代を対象に、ドライブレコーダーの映像等を活用する等、工夫を凝らした交通安全教室の実施

・　各関係機関や行政機関と連携した広報啓発活動の実施

７　その他

(1)　次回開催予定

令和７年８月下旬ころ

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。